

第2学年音楽科指導案

日時 令和4年8月25日（3校時）

児童 江別市江別太小学校

2年1組30名

指導者 長岡弘佳

1. 題材名 リズムやドレミとなかよし

2. 題材の目標

- 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。
- リズムなどを聴き取り、その動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関りや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。
- 歌に合わせてリズムを打つことや鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、拍やリズム、階名や鍵盤楽器に親しむ。

3. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
曲想とリズムなど音楽との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関りに気付いている。 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。	リズムのよさを聴き取り、その動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。	歌に合わせてリズムを打つことや鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みようとしている。

4. 指導計画と評価計画（8時間扱い）

	指導内容	観点別具体的評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1	○「どうぶつの歌」を、言葉の面白さを感じながら聴く。 ・繰り返し現れる「zoo zoo zoo」や「B-I-N-G-O」の歌詞に着目し、リズムを手で打ったりしながら聴く。			歌に合わせてリズムを打つことに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・

	<p>○「こいぬのビンゴ」を歌ったり,合わせてリズム打ちをしたりする。</p> <p>・手拍子が増えていくリズム遊びに挑戦する。</p>			協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	<p>○「こいぬのビンゴ」で,手拍子が増えていくリズム遊びをする。</p> <p>・リズムを打つところを変えて歌う。</p> <p>○「どうぶつの歌」を,動物の鳴き声に注意して聴く。</p> <p>・「どうぶつえんへ行こう」と「ゆかいなまきば」を,言葉のリズムを感じながら聴く。</p>	各曲の曲想と,言葉のリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。		
3	<p>○拍にのって「どうぶつラップであそぼう」の活動をする。</p> <p>・拍打ちに合わせて言葉のリズムで遊ぶ。</p> <p>○「どうぶつラップであそぼう」の遊び方を工夫する。</p> <p>・全体の速さを変えて遊ぶ。</p> <p>・動物以外の言葉で遊ぶ。</p>		「どうぶつラップ」のリズムなどを聴き取り,その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら,聴き取ったことと感じ取ったこととの関りについて考え,音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。	
4	<p>○「びよんびよこロックンロール」を,体を動かしながら歌う。</p> <p>・拍にのり,リズムを感じて,体を使った表現をしながら歌う。</p> <p>・体を使った表現と音の長さを結び付けて,音の長さを体感する。</p> <p>○「全音符」「2分音符」「4分音符」「8分音符」について理解して歌う。</p>	「びよんびよこロックンロール」の曲想と,リズムなど音楽の構造との関りや,曲想と歌詞の表す情景との関りに気付いている。		
5 (本時)	<p>○「びよんびよこロックンロール」を工夫して歌う。</p> <p>・様々な動物の名前や鳴き声に合わせて「どうぶつラップ」をする。</p> <p>・好きな動物で替え歌をつくる。</p>	発想を生かした表現をするために必要な,設定した条件に基づいて,即興的に音を選んで表現する技能を身に付けている。		リズムに合わせて鳴き声を工夫し,音楽活動を楽しみながら,主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
6	○「びよんびよこロックンロール」の替え	発想を生かした	リズムなどを聴き	

	<p>歌の発表。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表する。 <p>○<ことばのリズムであそぼう>の活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のリズムパターンをみんなでまねしながら,順番に回していく。 ・一人一つ,手拍子でリズムをつくる。 ・つくったリズムを,足と手で打つ組み合わせ方を考え,順番につなげていく。 	<p>表現をするために必要な,設定した条件に基づいて,即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。</p>	<p>取り,その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら,聴き取ったことと感じ取ったこととの関りについて考え,音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。</p>	
7	<p>○鍵盤ハーモニカで音階の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤の「ドレミファソ」の位置を確かめて,音階の練習をする。 <p>○「かえるのがっしょう」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斉唱の範唱を聴き,大まかな曲の感じをとらえる。 ・階名唱する。 			<p>鍵盤楽器の演奏に興味をもち,音楽活動を楽しみながら,主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>
8	<p>○「かえるのがっしょう」を,器楽で演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤の位置や階名,指の移動を確認する。 ・階名唱や運指唱をする。 <p>○「かえるのがっしょう」を,輪唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌で輪唱する。 ・歌と器楽で輪唱する。 	<p>「かえるのがっしょう」を階名で模唱したり,リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。</p>		

5. 教材名 「びよんびよこロックンロール」

6. 教材観

本教材は,リズムの違いを感じ取りながら音符や休符への理解を深めたり,拍の流れにのり,楽しみながら表現することを大切にする。身近な動物が登場し,それらの鳴き声のリズムを手拍子したり,歌ったりすることを通して,楽しみながらリズムの特徴をつかんでいく。また,全音符,2分音符,4分音符,8分音符をすべて使っかえるがジャンプしている様子を表している曲である。音符の長さによって,伸ばす,刻むなど歌詞の表し方も違うので,工夫しながら歌詞を作ること,音符の長さを体感させられるようにしたい。

7. 共通事項との関わり

本教材では,共通事項の中から,ア「リズム,速度,拍」について重点的に取り扱いたい。

8. 児童の実態

本学級の児童は,歌を歌ったり,音楽に合わせて身体表現をしたりすることが大好きである。また,鑑賞では,曲の持っているイメージから想像して楽しみながら聴くことができる。手拍子を真似するリズム打ちでは,楽しんでリズム打ちをし,抵抗なく全員の前で自分の作ったリズムを発表できる児童が多い。

7月に行った音楽集会では,2年生は「歌の動物園」を発表し,色々な動物の歌を身振りを交えながら発表

した。曲に合わせて歌うことや身振りを付けることに意欲的に取り組めるが、想像して表現することは個人差が大きい。

9. 本時の目標

歌やリズム遊びを通して、音符や休符の長さを意識してリズムに合わせて、替え歌を作ることができる。

10. 本時の展開 (5/8)

学習内容 (共通事項を知覚・感受する場面を記述)		教師の関りと評価規準・具体の評価方法 ☆共通事項を知覚・感受するための手立て *指導の留意点 △目標に到達していない児童への支援 □具体の評価基準【 】評価方法
導入	1. リズム遊びをする。 2. 前時の振り返りをする。 ・「ぴよんぴよこロックンロール」を体を動かしながら歌う。 3. 本時の学習の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ㊦リズムに合わせて、かえうたを作ろう。 </div>	☆リズムに合わせて、拍打ちをする。 ・グループで動物をかえて、替え歌を作ることを確認する。
展開	4. グループで、音の長さに合うように、動物の様子や鳴き声の歌詞を考え、替え歌に合うような身振りを付ける。 ・4つのリズム（全音符、2分音符、4分音符、8分音符）に合うようにリズムの違いが表れるような歌詞にする。 ・身振りは、一つの身振りで速さを変化させることを条件にする。 5. 数グループ中間発表する。 ・作っている途中の歌詞を発表する。	*グループに1枚、ワークシートを配付する。 ☆歌詞の部分をわかりやすく掲示する。 □グループで音の長さを意識して楽しみながら学習活動に取り組んでいるか。 【活動の様子】 △進んでいないグループには、動物のイメージを確認して、アドバイスをする。 ・グループの工夫のよさや表現のよさを認め合う。 *代表して数グループ発表。
まとめ	7. 学習のまとめをする。	・次回の予告をする。

11. 評価

- ①リズムに合わせて鳴き声のリズムを工夫し、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしていたか。【主体的に取り組む態度】
- ②発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んで表現する技能を身に付けている。【知識・技能】




かえうたをつくろう

2年組 名前()

Handwritten musical score for a song. The score is written on a grand staff with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The time signature is 4/4. The lyrics are: か が む ひ と た の し く み ん な で

The score is divided into three systems. The first system contains the first two lines of music. The second system contains the next two lines. The third system contains the final two lines. Each line of music is followed by a box for the student's name. The lyrics are written below the notes. The notes are mostly quarter notes, with some eighth notes in the final line. There are some handwritten marks in pink on the notes in the third system.

Legend for the smiley faces:

-  よくできた
-  できた
-  もうすこし

リズムに合わせてかえうたをつくることができましたか。

江教研音楽部会研究授業

日時 令和4年8月25日
授業者 江別市江別太小学校 長岡 弘佳先生
児童 2年1組 30名
題材名 リズムやドレミとなかよし

【事前研について】

- ・本時の課題と評価にぶれがないように、課題を「リズムに合わせてかえ歌を作ろう」にした。
- ・始めは、ワークシートを1人1枚で書く予定だったが、グループに1枚(A3)に変更し、音楽作りに時間をかけるようにした。

【授業者から】

当日の子どもたちの様子は、色々だったが、子ども達なりにがんばったと思う。夏休み明け、音楽の授業のために班編成を行った。今日の授業の話し合いで、さっと決まると思っていたグループがなかなか進まない様子も見られた。

となりのクラスで授業を行った時には、色々な動物が出てきたが、今回は子犬グループが3班あった。動物の種類幅をきかせるために、事前に広げておけばよかったと感じる。

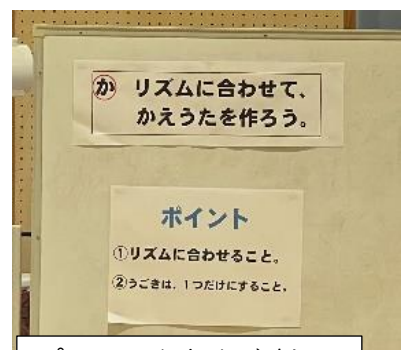
【話し合いから】

① 導入（リズム遊び・発声練習・前時の振り返り・課題把握）

- ・大きなワークシートを電子黒板に掲示しており、児童は「これをやるんだ。」と視覚からもわかるようになっていた。
- ・生き生きと活動していた。音楽をやる以前に、聞く、話し合うなどの切り替えがとても早かった。
- ・リズム遊びはいつから取り組んでいるのか？
→4月から取り組んでいるとのこと。慣れてきたら児童が前に出てやるようにした。

② 展開Ⅰ（グループでの活動）

- ・始めは遠慮しながらグループでの話し合いをしていたが、だんだん盛り上がっていった。
- ・八分音符のところをワンワンワンにするか、ワワワにするかで迷っていた。



- ・ どのグループもアカペラで練習をしており、リズムや音取りもみんなできてよかった。
- ・ 動物の鳴き声が決まったら、すぐ踊りに入るのかと思ったが、自分たちでリズムを確認していたのがすごいと思った。
- ・ リズムに合わせてかえ歌を作るという課題にぴったりの内容だった。
- ・ 二分音符の拍を保っているのが、小2でここまでできることに驚いた。
- ・ 「八分音符があわない。」と言っていた児童がいたが、そこは事前に指導したのか知りたい。
→前時にしか音符の名前は指導していない。
- ・ リズムをのばす、きざむのは子どもたちになりやっていた。



グループで相談



動きをつけて練習



歌詞を書き込みます。

③ 展開2 (中間発表)

- ・ 発表に意欲的なグループが多かった。
- ・ 音源について 歌いながら音を聞くのは難しいなと感じた。
(音源と子どもたちの歌にずれがでてしまった。) 音源を流したが、音がなくても発表できたのではないかと。
- ・ 最後に、「リズムに合って作った？」と聞くことで、楽しく音楽を作るだけでなく、課題に戻り、自分を振り返ることができたのがよかった。



出来上がったかえ歌を発表

まとめ

今年度もコロナの状況が落ち着かない中でしたが、授業を公開して下さった長岡先生はじめ江別太小学校の先生方のおかげで、研究を進めることができました。長岡先生が、4月から計画的に音楽の授業を行ってきた成果が、今回の授業に結びついたのでと思います。

「どんな動物にする？」というところから始まり、「リズムに合わせたかえ歌作り」、「動きをつける」と児童のやることはたくさんありましたが、どの班も協力して一つの音楽を作り上げていました。わかりやすいワークシートやポイントを明確化することで、児童がスムーズに活動できたのだと思います。

中間発表では、自分たちの作ったかえ歌を発表したい！という班が次々と発表し、音楽活動の楽しさを実感した様子でした。

子ども達が、生き生きと活動し、互いに学び合いながら音楽を作る様子から、今年度の研究仮説にぴったりな授業でした。今回のような音楽活動の楽しさを体験する学習を通して、生涯、音楽を愛好する心、豊かな感性につながればよいと思います。

【子ども達のワークシートより】

かえうたをつくらう (2 はん)

おさるが キー キー もうひとつ キー

みんなで キキキキ たのしく キー

キキキ キキキ ワキワキワキキ キキキ

かえうたをつくらう (3 はん)

ねずみが たー たー もうひとつ たー

みんなで たー たー たー たのしく たー

たー たー たー たー たー たー たー たー

かえうたをつくらう (4 はん)

子狸が ワン ワン もうひとつ ワン

みんなで ワンワンワン たのしく ワン

ワンワン ワンワン ワンワンワンワン ワンワン

かえうたをつくらう (5 はん)

子狸が キン キン もうひとつ キン

みんなで キンキンキン たのしく キン

キンキン キンキン ワンワンワンワン キンキン

ほくたけはいいの かんたんにうたをうたう
いたいなるこ、子狸のうたをうたうよ
せむせてくわささい

かえうたをつくらう (6 はん)

おさるが かー かー もうひとつ かー

みんなで がー がー がー たのしく がー

がー がー がー がー がー がー がー がー

かえうたをつくらう (7 はん)

子狸が ワン ワン もうひとつ ワン

みんなで ワンワンワン たのしく ワン

ワンワンワン ワンワンワン ワンワンワンワン ワンワン